

事務事業	66	男女共同意識啓発のための情報提供					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	04	男女共同参画社会の構築					
施策	03	家庭生活を男女がともに担うための支援					
事業内容							
目的	固定的な性別役割分業にとらわれず、男女がともに家庭生活における責任を果たすための意識づくりを推進します。						
対象・手段	男女平等のための啓発誌「しんじゅくフォーラム」を発行します。						
成果(事業が意図する成果)							
固定的な性別役割分業にとらわれず、男女がともに家庭責任を果たせるように区民の意識改革が図られています。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
家庭における男女平等観	区政モニターアンケートで「家庭生活で平等になっている」との回答/全体回答数	(平成19)	年度に				
		(60%)	の水準達成				
		()	年度に				
		()	の水準達成				
		()	年度に				
		()	の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	%	0.00	60.00	60.00	60.00	区政モニターアンケート：平成16年度から実施
	実績1	%	0.00	24.60	35.70	36.40	
	= /	%	0.00	41.00	59.50	60.67	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	「しんじゅくフォーラム」24号発行 テーマ：少子化時代の私の選択・私のライフスタイル						
平成18年度	「しんじゅくフォーラム」25号発行 テーマ：「結婚」から考える男女のパートナーシップ						

部名称		総務部		課名称		総務課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	2,189	2,117	2,117	2,145	
	人件費	千円	3,335	3,335	2,501	2,484	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	5,524	5,452	4,618	4,629	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	5,524	5,452	4,618	4,629	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	5,524	5,452	4,618	4,629	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.40	0.40	0.30	0.30	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>「しんじゅくフォーラム」は、編集については業者委託をしており、区民との協働という視点がやや欠けています。</p> <p>また、創刊から四半世紀がたち、一定の目的を達成しましたので、社会情勢の変化を踏まえて、男女共同参画啓発のための情報提供のあり方を検討します。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	「しんじゅくフォーラム」は、創刊から25年がたち、一定の目的を達成しましたので、25号はその集大成として、内容に工夫を凝らしました。今後、啓発のための情報提供のあり方を根本的に検討します。				
	効率性	1	編集を業者委託にすることにより、効率的に実施されていますが、協働の視点を取り入れることや、社会情勢の変化を考慮した情報提供のあり方について、検討する必要があります。				
	実施の成果	2	「しんじゅくフォーラム」は、地域団体や小・中学校、区立の各施設、区内金融機関などに配布し、多くの区民が読めるようにしています。				
	行政の関与	1	啓発活動の主体として区が行うことは妥当ですが、編集形態の妥当性について再検討しました。				
	妥当性	1	「しんじゅくフォーラム」は、男女がともに家庭責任を果たすための意識啓発の手段として妥当であったと考えますが、創刊から25年が過ぎ、他の手法についての検討を行いました。				
	施策寄与度	2	男女がともに家庭生活において、責任を果たすための意識啓発に寄与しています。				
総合評価	<p>「しんじゅくフォーラム」は、毎回著名人とともに区民が登場し、区民に親しみやすい啓発誌を目指してきました。しかし、編集については業者委託をしており、区民との協働という視点がやや欠けています。</p> <p>また、創刊から25年が過ぎ、社会情勢が大きく変化しているため、変化に対応した情報提供のあり方を検討する必要があります。このため編集方法や紙面づくりについて、他自治体の状況などの情報収集を行い、区民との協働を取り入れることなど、今後に向けて検討を行いました。</p>						B
							過年度評価
改革方針							17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
							方向性
<p>区の情報提供手段として、「しんじゅくフォーラム」を、男女共同参画推進センター情報紙「ウイズ新宿」と一元化します。「ウイズ新宿」はセンターの登録団体有志による編集委員が編集してきましたが、広く区民から編集委員を公募し、事前研修として編集講座を開催するなど、編集技術を初歩から学べるよう仕組みを作ります。</p>						2	
						手段改善	